

**平成26年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
生涯学習推進基本講座【道央会場】事業報告**

I 事業の概要

研修テーマ 社会の要請にこたえた生涯学習・社会教育の推進について
～住民の協働による地域活動の充実を目指して～

- 1 趣 旨 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画等に関する基本的・実務的な知識や技術などについて理解を深める。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
北海道社会教育主事会協議会（空知社会教育研究協議会【SSKK】）
- 3 協 力 北海道教育庁空知教育局
- 4 期 日 平成27年1月22日（木）～23日（金）
- 5 会 場 芦別市民会館 中ホールほか（芦別市北1条東2丁目4番地）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員など）、生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センターなど）職員等
30名
- 7 参加状況 44名（社会教育関係職員 31名、社会教育関係職員以外 13名）

8 日 程

		10:45	11:00	12:00	13:00	14:00	16:30	17:00
一 日 目		受 付	開 会	講 義	昼 食 休 憩	事 例 発 表	ワークショップA	情 報 提 供
	ワークショップB							
二 日 目	9:00	10:00	11:00	12:00				
	ワークショップA	全 体 交 流	個 別 相 談	解 散				
ワークショップB								

※ 個別相談について（希望制）

推進センター職員が、市町村の生涯学習・社会教育の推進に関わる中・長期計画策定等の個別相談に応じる。

9 活動の概要

(1) 講義「住民の協働による地域活動の充実を目指した
生涯学習・社会教育の推進について」

【講師】北海道立生涯学習推進センター主査 柴野貴史

【内容】なぜ、「住民の社会参画」が必要なのか、国や道の動向から説明し、住民が主体となって地域活動に取り組んでいる事例を紹介



講義の様子

(2) 事例発表「住民の協働による事業（実践事例）について」

【講師】水土里ネット推進室室長 高柳広幹氏

【内容】水土里ネットが取り組んだ農業用水利施設のソフト事業について、地域の人たちとの幅広い活動を目指した様々な活動の様子を紹介



事例発表の様子
事例発表者 佐々木氏・井口氏

【講師】空知社会教育研究協議会副会長 井口純一氏

【内容】空知社会教育研究協議会が取り組んだ社会教育関係職員や子ども会リーダー養成の研修会とのコラボ事業について、関係機関や団体の連携した取組の様子を紹介



(3) ワークショップ A「リーダーの発掘・養成のための人材育成について」
B「関係団体との連携のあり方について」

【ファシリテーター】北海道立生涯学習推進センター職員

【内容】4人1グループに分かれ、よりよい地域づくりに向けて、人材育成や団体との連携のあり方などから、社会教育主事・社会教育担当職員に必要なもの（こと）について、各テーマに沿って、それぞれの役割や立場から課題や解決策を協議



ワークショップの様子

(4) 全体交流

【進行】北海道立生涯学習推進センター主査 澤田慎也

【内容】ワークショップA・Bで協議した内容を紹介し合い、参考となった点を話し合い、リーダー発掘養成や関係団体との連携についての視点を確認



全体交流の様子

(5) 個別相談（希望制）

【対応】北海道立生涯学習推進センター主査 柴野貴史・澤田慎也

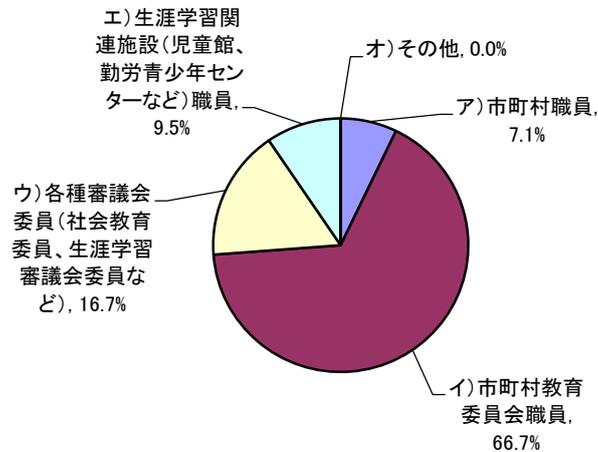
【内容】

秩父別町	子どもの読書計画策定について
芦別市	通学合宿事業について
沼田町	通学合宿事業について
栗山町	通学合宿事業について
岩見沢市	次期中期計画（H28～）の策定について

Ⅱ 事業の満足度

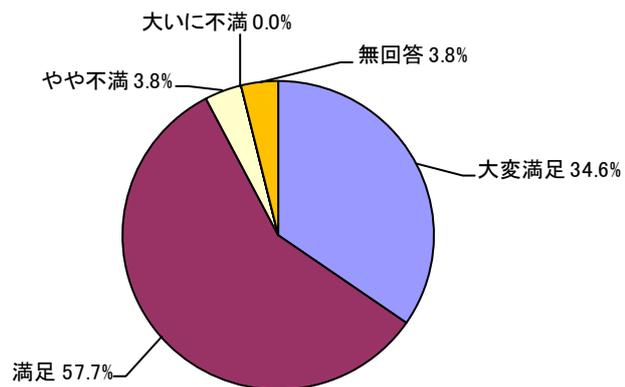
1 アンケート対象者数 42名 回答者数 26名 (回収率 61.9%)

参加者(所属)状況



2 講座全体をとおして

総合満足度	大変満足・満足 92.3%
-------	------------------

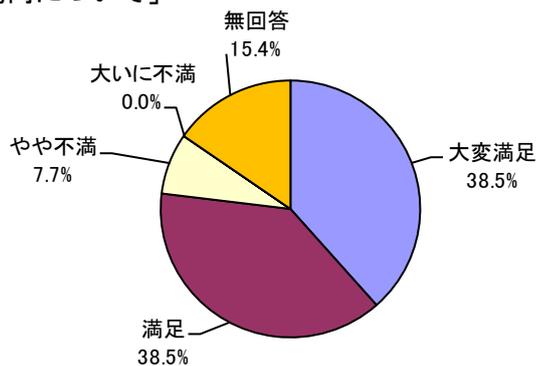


【参加者の声】

- 会場の芦別市の方が、とても気配りしてくれてよかった。
- 人材育成については、知識不足があったため、理解が深まっていい機会となった。
- 講座を通して、他の市町村の現状や取組を聞くことができたのでよかった。
- 他の社会教育担当者の考え方、物の見方を知ることができ参考となった。
- 日々の業務と同じ内容のテーマでよかった。
- 生涯学習担当となったのが昨年の10月からで、わからないことばかりで、参考となった。
- 新しい発見というものはなかったが、社会教育において必要といえる団体とのあり方について振り返る良い機会であったと思う。
- リーダーの育成論について、学ぶべきことが多かった。
- 全体を通してヒントがいっぱいでした。
- 様々な市町村の事例を聞くことができたのでよかった。
- 社会教育に関わる方の話を多く聞くことができ大変有意義でした。
- 社会教育における課題が見えてきました。「連携」を合い言葉に頑張っていきます。

3 研修プログラムの内容について

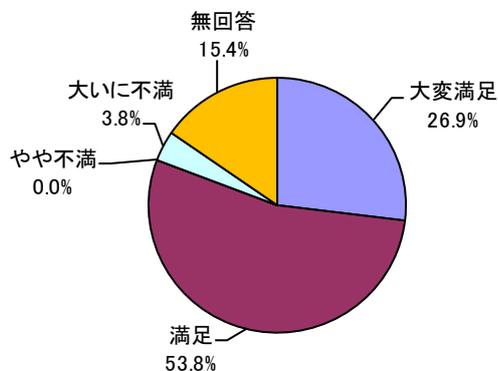
(1) 講義「生涯学習・社会教育に関する動向について」



【参加者の声】

- 住民の参画に対する必要性について、多角的な視点を与えてもらいました。
- 現状やその打開策を考える機会となった。
- 非常にわかりやすい説明でした。
- 今後の社会参画の推進について、学ぶことができました
- 再確認することがたくさんあった。
- 生涯学習、社会教育の推進について、大変わかりやすい講義でした。
- 問題・課題、参加・参画がおもしろく参考になった。

(2) 事例発表「住民の協働による事業（実践事例）について」

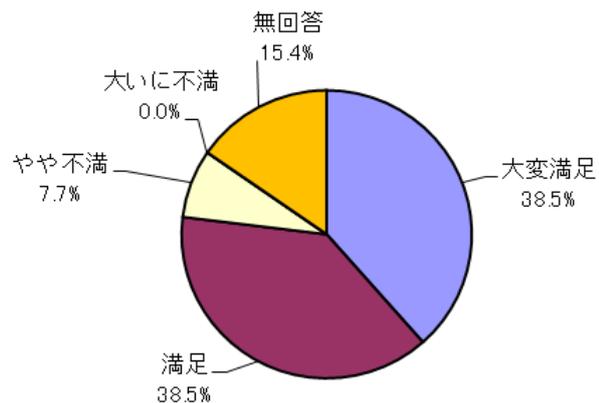


【参加者の声】

- 団体の取組の現状を知ることができた。
- 土地改良区（水土里ネット）の取組は、とても参考になった。
- 初めて聞く話だったので新鮮でした。
- 多様な事例をお聞かせいただき大変参考になりました。
- 水土里ネットの事例を伺って、一緒に連携していきたいと思った。

(3) ワークショップA「リーダーの発掘・養成のための人材育成について」

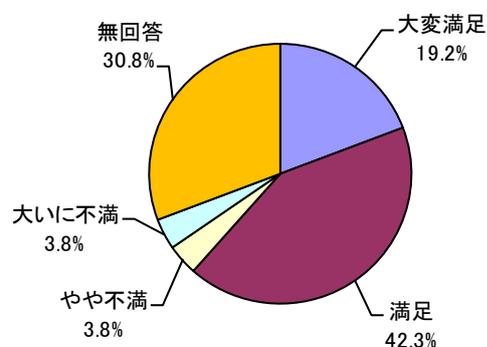
B「関係団体との連携のあり方について」



【参加者の声】

- リーダーについて、深く考える機会になりました。
- 後継構築、人材育成・強化のためには、細かな点に気をつけなければならないことがわかった。
- 立場や環境の違う人と交流を行い、他市町村の現状を知ることができてよかった。
- 他市町村の考えや意見等を聞いて参考になった。
- 日頃、考えることがないテーマでしたが、参加者の話を聞いて大変参考になった。
- リーダーとフォロワーの必要性・資質について考えることができ、新たな視点を持つことができた。
- ヒントとなることが多く、今後の活動につなげていく。
- 様々な市町村の事例を聞くことができたのでよかった。
- じっくり関係団体との連携のあり方についてお話しができ、大変勉強になった。
- 関係団体とのあり方の中で、いろいろな課題が見えてきた。ワークの中でその課題についての討議ができて有意義な時間となった。
- いろいろな市の活動や考えなど聞くことができて勉強になった。来年度の活動に生かしたい。
- 資料が見えにくかったので、読めるようにした方がよい。
- パワーポイントの資料が見にくかった。

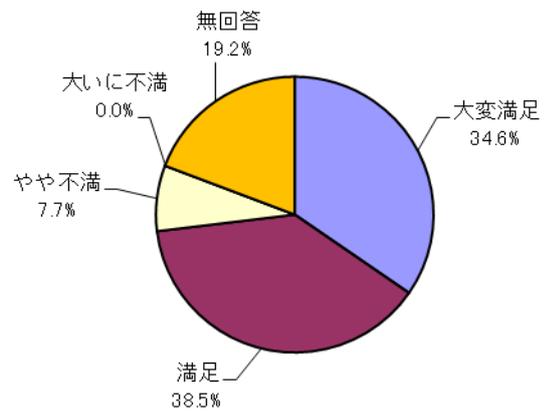
(4) 全体交流



【参加者の声】

- 別グループの意見を聞くことができ、交流につながった。
- 団体との連携、団体の育成のためには、ただ事務所にドンと座っているだけでなく、現場にいき、「よりそう」必要があることを再確認しました。
- 後継者のつくり方や今後のリーダーの取組、仕組みづくりの気づきとなった。

4 研修講座の運営について



【参加者の声】

- スムーズに進行していただいた。
- 不備等はなかった。
- 意見交流の場に時間をかけているのがよい。
- 休憩を取っていただき、柔軟に進めていただいたところがよかった。
- きめ細かい心づかいがあってよかった。

5 その他、本講座をとおして気づいた点

【参加者の声】

- 生涯学習・社会教育について、振り返ることができ、学びを深めることができた。
- 事例発表とワークのつながりがやや薄かったように感じる。

6 今後の要望等

【参加者の声】

- ・生涯学習・社会教育について、ますます深く学べる場を提供していただきたい。